
 記 事

◎第8回理事会(昭.31.1.17)出席者:菊池会長,種谷副会長,江里口,星埜,後藤,平井の各理事,中川書記長,朝倉,捧箸,堀内の各主任書記。議事:1)12月中の行事その他報告,2)会誌編集委員長として糸川一郎君,幹事として深谷俊明君を委嘱し,コンクリート示方書改訂委員会ダムコンクリート分科会に高橋国一郎君,鉄筋コンクリート分科会に水野俊一君を追加委嘱すること,3)本年度通常総会は5月26日を予定し,会場は早稲田大学を借用することとし,平井,河北両理事で準備を進めること,4)夏季講習会については平井,河北両理事で立案のこと,5)会誌編集方針変更にもない会費を正員年額1,000円,准員700円に値上げし(学生員は従来どおり500円)正員には学会誌,論文集および名簿を無料配付し,准・学生員のうち論文集および名簿希望者は200円増徴することとし,31年度予算を編成すること,6)1956年国際溶接学会年次大会への提出論文について日本学術会議溶接研究連絡委員会委員長から協力依頼について,7)会員入退会承認。

◎各種委員会

1. 第1回学会誌新編集委員会(昭.31.1.24)出席者:星埜編集部長,後藤次長,糸川委員長,西畑,菊池,小林,久保,杉田,安河内,栗栖,安藤,松本,八十島,尾藤(代樋口),猪股,針ヶ谷,左合(代千秋),河上(代後藤)の各委員,徳平,深谷の両幹事,中川書記長,岡本編集部員。議事:星埜編集部長から経過を説明の上,糸川委員長新任挨拶を述べ各自自己紹介ののち議事に入る,1)後藤理事に副委員長をお願いする,2)編集内規,覚え書,投稿注意等の原案について審議,3)現在編集部にある原稿の審査委員を定め,4月号に登載すべき原稿を協議し次回で決定する方針とする,4)依頼原稿はそれぞれの担当委員から督促すること。

2. 第8回学会誌旧編集委員会(昭.31.1.27)出席者:星埜,後藤正副委員長,今(代板倉),荒井(代渡辺),成岡,河内各地方委員,久保,岸,尾藤(代樋口),菊池,三浦,針ヶ谷,竹下,林(一),北岡,西畑,猪股,白石,関,大宮,林(泰),の各委員,中川書記長,徳平幹事,岡本編集部員。協議事項:土木賞委員会よりの依頼により,土木賞候補論文につき審議し,学会賞8編,奨励賞9編を撰び,担当委員は2月10日までに推薦理由書を提出することとした。

3. 学会誌編集小委員会(昭.31.1.9)出席者:後藤副

委員長,林(泰),三浦両委員,徳平幹事,岡本編集部員。協議事項:41巻2号編集について最終審議を行った(割当64ページ)。

4. 会誌抄録委員会(昭.31.1.10)出席者:左合委員長,二階堂,久野,樋口,山口各委員,千秋幹事,徳平編集幹事,岡本編集部員。協議事項:1)新制度による学会誌の抄録方針につき審議し,原案作製のため緊急に企画委員会を開くこととなつた。

5. 抄録企画委員会(昭.31.1.13)出席者:左合委員長,稲田,小林,樋口,梅田,嶋,平嶋,加藤,中村,山口,久野,二階堂,渡辺各委員,千秋幹事,徳平編集幹事,岡本編集部員。協議事項:4月号よりの文献目録,文献抄録の方針について協議し,幹事において内規案,覚え書案を作製し次回に審議することとした。

6. 第3回耐震工学委員会(昭.31.1.9)出席者:沼田委員長,東,石井,岡本,神谷,近藤,寺島,畠山,平井,星埜,村,最上の各委員,久保幹事および中川書記長。協議事項:1)東委員から12月24日の連絡委員の経過説明,2)世界会議の出席予定者について,3)昭和31年度の事業計画について。

7. 水理委員会公式集改訂打合せ(昭.31.1.10)出席者:安芸委員長,米屋幹事長,本間,市浦,左合,浜田,吉川の各委員,協議事項:1)水理公式集の改訂根本方針について,2)目次について具体的に検討,3)水理委員会のうちにsub committeeとして水理公式集改訂小委員会を設置することとし,小委員のメンバーを協議,4)1月末までに各分科で目次の細目案を調製して,2月上旬に小委員会の準備会を開催すること。

8. コンクリート示方書改訂委員会分科会

- a) 無筋コンクリート分科会(昭.31.1.9日,27日)
 - b) 鉄筋コンクリート分科会(昭.31.1.6日,31日)
 - c) ダムコンクリート分科会(昭.31.1.14日,25日)
- それぞれ逐条審議を行った。

9. 第30回コンクリート鉄道構造物委員会(昭.31.

1.11)出席者:吉田委員長,沼田,高坂(代尾崎),大槻(代三浦),坂本(代天野)の各委員,山内,和仁,赤沢,川口,深谷,松本の各幹事。議事:一般構造細目第3~第6条を審議。第31回同委員会(昭.31.1.26)出席者:吉田委員長,友永,高坂,坂本(代天野)の各委員,川口,深谷,赤沢,松本の各幹事。議事:一般構造細目4,5,7~10条を審議。

10. 第1回土木賞委員会(昭.31.1.18)出席者:菊池会長,星埜編集部長,伊藤,佐藤,当山,広瀬,福田,町田,吉田,荒井の各委員,中川書記長,捧著主任書記。協議事項:1)菊池会長挨拶ののち,委員長互選の結果,吉田徳次郎君に決定,2)論文審査方法について,3)土木賞授与方針その他について。

11. 土木工学叢書委員会(昭.31.1.26)出席者:佐藤委員長,平井,星埜,米元の各委員,中川書記長,堀内主任,渡辺,宮崎(技報堂)両君。議事:1)今後の企画について協議の結果,鋼橋(III),溶接工学,プレストレストコンクリート構造物の初版と鋼橋(I)の三版を31年中に刊行し,引続いて河川,港湾,コンクリート,建設機械,基礎工学,都市計画,道路,測量,鉄道等が考慮されるので各委員が著者と接衝して,次回までに具体案を持寄ること。

12. 溶接鋼鉄道橋小委員会(昭.31.1.27)出席者:田中委員長,奥村,友永,多田,中根の各委員,西村,菊池,田島,安部,安浪,白石,大谷の各幹事,議事:設計細目の一般事項について審議。

◎日本工学会 第7回工学会大会担当学会総合打合会を昭和30年12月16日開催し,講演会,見学会,展覧会等の企画を大体決定した。

定例理事会(昭.31.1.24)において,1)第7回工学会大会講演会場は日本工業クラブがさしつかえるので国鉄労働会館に変更し,5月11日午後1時~5時までとする。2)講演予定者のうち高碕氏には会長から依頼する。3)懇親会は5月11日午後5時半から日本工業クラブで行う。5)展覧会は5月4~13日,日比

谷公園で日刊工業新聞社主催で行う,5)その他等を協議した。

◎日本学術会議から先般来日した中国科学視察団からの寄贈品を届けられた(1月9日)。1. 銭江六和塔(写真織物額),2. 中国古建築参考図集。

支部だより

1. 東北支部 幹事会(昭.31.1.27)出席者:宮本支部長以下15名。議事:1)技術研究会の講演予定者,期日,場所等について,2)その他。

2. 中部支部 第10回幹事会(昭.31.1.17)出席者:鈴木幹事長ほか14名。議事:1)土木学会会費未納者について,2)今後の行事予定について(1月行事として講演会の開催,2月行事として名古屋市高速鉄道工事見学,3月行事として道路講習会を開催すること)。講演会(昭.31.1.21)講演者および題目:米国の諸港湾を見て(前田一三),中国を見て(杉戸清),ヨーロッパの道路を見て(大林勇治)。聴講者約120名で諸外国の土木事業の報告が一同に多大の感銘を与えた。

3. 関西支部 講演会(昭.31.1.25)講演者および題目:欧米視察談(近藤泰夫),聴講者約80名。

4. 西部支部 西日本水害調査総合部会(昭.31.1.14)議題:1)原稿内容について,2)印刷費の概算見積について,3)成果刊行費の申請について。第11回幹事会(昭.31.1.24):議題:1)研究発表会について,2)支部総会について,

昭和31年1月分入退会報告(昭.31.1.1~1.31)

1. 入会	105名(特3級1, 正17, 准28, 学生59)
2. 退会	36名(正25, 准11)
3. 転格	13名(准から正へ12, 正より准へ1)

会員現在数(昭.31.1.31.現在)

名誉員	賛助員	特別員	1級	2級	3級	正員	准員	学生員	合計	増加
19	30		29	71	126	5124	5781	1261	12441	69

昭和31年2月10日印刷
昭和31年2月15日発行

土木学会誌 第41巻 第2号

定価100円

編集兼発行者 東京都千代田区大手町2丁目4番地 中川一美
印刷者 東京都港区赤坂溜池5番地 大沼正吉
印刷所 東京都港区赤坂溜池5番地 株式会社技報堂

東京中央郵便局区内 千代田区大手町2丁目4番地 電話和田倉(20) 3945番
4078番
発行所 社団法人土木学会 振替東京16828番